

## 第 62 回大分県消費生活審議会 議事録

### 1 開催日時

令和 7 年 7 月 9 日（水） 10：30～12：00

### 2 開催会場

大分県消費生活・男女共同参画プラザ 2階 大会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

学識経験者 石松 直美 委員、亀井 正照 委員、吉良 重彦 委員、山城 興介 委員、  
小野 里香 委員、古田 奈々 委員

消費者 雨宮 洋子 委員、石本 理砂 委員、河原 伸明 委員、原 理絵 委員、  
古代 紘子 委員、水谷 トシエ 委員

事業者 大塚 浩 委員、紀野 道子 委員、七五三 ちあき 委員、江原 加代子 委員、  
藤田 明弘 委員

行政 山下 剛 委員

(以上 18 名)

※欠席委員 木戸 寛之 委員、高橋 洋明 委員

#### (2) 事務局

生活環境部 部長 首藤 圭

県民生活・男女共同参画課 課長 木内 直道

// (ほか事務局 13 名)

### 4 公開、非公開の別

公開

### 5 傍聴人数

0 名

### 6 議題及び結果

#### (1) 会長の選任

審議会の会長に古田 奈々委員を選任した。

#### (2) 議事録署名委員の選任

議事録署名委員に吉良 重彦委員と水谷 トシエ委員を指名した。

#### (3) 報告

令和 6 年度 消費生活相談の概要について

#### (4) 議事

①「第 4 次大分県消費者基本計画」の進行管理について

②「第 5 次大分県消費者基本計画」の策定について

[主な意見・質問等]

・大分県は全国的にガソリンの価格が高い。県として価格を規制することは法的に難しいとのことであるので、価格の店頭表示について事業者に対するアンケートを行うことは大変意義があると考えます。今後、アンケート結果を活用して何らかのアクションにつなげられればと思う。

・カスタマーハラスメントは近年注目されている問題であり、消費者による行き過ぎた行動は問題である一方、雇用主の労働環境管理の責任も重要である。従業員がカスタマーハラスメントを受けた際に、雇用主が適切に対応し、働く環境を守る必要があるため、この課題は消費者行政だけでなく、複数の分野にまたがるものであり、関係機関と連携しながら取り組んでほし

い。

・限られた授業時間や教科の中で、どのように消費者教育を広げていくかが課題であり、小中高を通じた縦の連携・継続性を確保することも重要である。教育委員会との連携が必要であり、授業時間や国のカリキュラムの問題も絡んでくるため、全体として多方面から検討していく必要がある。

・昨今は高齢者の消費者被害、特に詐欺被害が非常に多く、70歳以上の高齢者が被害を受けている割合が高い。後期高齢者を中心に、いかに被害を未然に防ぐか、そして誰かに相談できる体制づくりができれば、被害はかなり抑えられるのではないか。第5次計画においては、相談窓口の整備を含めた具体的な取組を、ぜひご検討いただきたい。

・高齢社会における消費をめぐる問題は、常に誰かが気を配り、注意を払っていかなければならない。高齢化が進む中でも、消費者一人ひとりが賢くなっていくことが何よりも大切であり、そうした意味でも、この教育の充実にもっと前向きに取り組んでほしい。

・教育現場のデジタル化が進み、小・中・高といった各段階での教育が、より連動して進められることが重要だと感じている。デジタルを使いこなす力を育てる一方で、インターネットに潜む危険やトラブルなど、デジタル社会におけるリスクについても、若い段階からしっかりと伝えていく必要がある。消費者教育とデジタル教育を別々に捉えるのではなく、両者をうまく組み合わせて進めていくような取り組みが、今後ますます求められていくのではないか。

## 7 会議の資料名一覧

資料 1 令和6年度消費生活相談の概要

資料 2 第4次大分県消費者基本計画における指標及び目標値と令和6年度実績

資料 3 石油製品販売価格等調査及び事業者アンケート結果

資料 4 第4次大分県消費者基本計画 令和6年度関連事業実績

資料 5 第4次大分県消費者基本計画 令和7年度関連事業計画

資料 6 第5次大分県消費者基本計画の策定について

資料 7 第5期消費者基本計画概要・本文（消費者庁資料）